

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館・博物館施設管理事業			会計	款	項	目	大	事	小	事
				01	10	05	07	01	02		
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館						
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館・博物館利用者	意図	快適・安全に施設を利用していただく。
事業内容	清掃・空調等の保守業務を管理専門業者に委託するとともに、図書館及び博物館の施設と設備の維持・管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	図書館及び博物館が老朽化することにより、施設の不具合発生が懸念される。毎年、修繕計画を立て、緊急性のあるものから優先的に修繕している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
指標	① 施設の利用者数	91768	91036	94140	人	↑↑↑	中央図書館+博物館	
	② 施設の利用者数1日平均利用者数	298	302	315	人	↑↑↑	利用者数/開館日数	
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 常に良好な環境で学習・研究できる場を提供するため、施設の清掃及び環境衛生業務委託に係る日常の清掃場所を再点検した。 玄関ピロティアルミ製軒天井の塗装修繕、受変電設備の断路器修繕等を行った。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		28,746,577	26,342,397	24,868,262				
事業費(b)(円)		18,895,677	17,313,547	16,030,662				
うち一般財源		18,895,677	17,313,547	16,030,662				
職員給与と費(c)(円)		9,850,900	9,028,850	8,837,600				
人役・職員(人)		1.25	1.25	1.25				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.40	0.40	0.40				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	図書館及び博物館を利用する方が不快に感じることがないように、引き続き快適で安全な施設として保全する。	③取組の課題	さらなるバリアフリー化や施設の経年劣化に伴う修繕を見極めて行う必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	中央図書館及び博物館の玄関ピロティアルミ製軒天井の塗装修繕、受変電設備の断路器修繕を行うとともに、緊急度の高い小破修繕を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	小破修繕を行うとともに、個別施設計画を作成する必要がある。